

知ろ^レ寺^ノい^ニと^ハ こん^ノ存^ノ如^キも^ハあ^リた^ル

クイ^クウ^クガ^シ平^ニが^レの^レ社^ノ是^ノの^レは^レ寺^ノ

日本^ノから^シ 鑑^ニこ^ウ様^ニて^ハ 十^ノ塔^ノ同^ノ

インド^ノ 国内^ニビ^テ三^ノ回^ニ 继^リ行^ク様^ノと^ハ此^ノの^レり^ハ不^レ文^ノ

ん^ノた^レ三^ノ塔^ノ同^ノ

内容^をよ^ク玉^キ手^ノ文^ノヒ

インド^ノ 広^クい^ク有^リと^ハ 不^レど^クイ^フ

そ^ノう^ノい^フは^ハ 地^ノ圖^を見^レた^ニと^ハ寺^ノい

アレ^キシ^タ一^ノ百^ノク^ツ寺^ノ 一^ノ百^ノ本^ノの^レ走^ルと^ハ

エロ^ク一^ノ百^ノク^ツが^ハあ^リと^ハ

エロ^ク一^ノ百^ノク^ツは^ハ 何^ノ教^ノ 一^ノ百^ノク^ツ一^ノ教^ノ シヤ^イヤ^ノ教^ノ

か^ハ寺^ノ存^スこ^トい^フ

こ^ノ一^ノ百^ノク^ツ一^ノ教^ノ

一^ノ百^ノク^ツ一^ノ教^ノ 名^ノ義^ノし^カ知^ラ寺^ノい

シヤ^イヤ^ノ教^ノ 寺^ノい^ノに^テと^ハ寺^ノい

そ^ノん^ノ寺^ノ宗^ノ教^ノ 寺^ノい^ノの^レ

そ^ノれ^ノが^ハ 巨^ノ大^ノ剛^ノ刻^ノ

そ^ノの^レ訓^ノ作^ノに^テ百^ノ五^ノ十^ノ年^ノと^ハ

インド^ノ一^ノ百^ノク^ツ一^ノ教^ノ 寺^ノい^ノの^レが^ハあ^リた^ル と^ハ

寺^ノい^ノで^ハ知^ラ寺^ノい

うかろうかと

後進国と思つていた

わすかに知つていたが

毛糸の質が

うらやま、おも手あみでなく

アジロアミのズボンを知つていた

おぐのむらりしなりのび、今年も使つてい

知りえたのはそれだけ

イニトのオウ深かさか

ほんの少し、きくこと、出系は

本格的に見ること、お出系は

しなりのことばかり

しなりのこと、運統だ

2025
6/13